



JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

日本経営システム学会 第51回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第51回全国研究発表大会は、平成25年12月7日（土）、8日（日）に広島経済大学にて開催されます。つきましては、多くの会員のご参加およびご発表を心よりお待ちしております。何卒宜しく願い申し上げます。

記

開催日：平成25年12月7日（土）、8日（日）

開催場所：広島経済大学

〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号

<http://www.hue.ac.jp/>

連絡先：広島経済大学 村山 秀次郎

TEL：082-871-1000（代表） E-Mail：sj-mura@hue.ac.jp

統一論題：「ビッグデータ時代の人材育成と経営システム」

特別講演：広島の地場企業の経営者（交渉中）

基調講演：NTTデータ ビッグデータ・ビジネス推進室 部長 中川慶一郎 氏

参加費：会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生会員 3,000 円（当日支払いは 1,000 円高）

非会員の学生は当日払いの学生会員と同額の 4,000 円

懇親会費：会員 5,000 円、非会員 6,000 円、学生 3,000 円（当日支払いは 1,000 円高）

昼食：7日（土）は学内の食堂が利用可能です。

宿泊等：JR 広島駅周辺および中心街など 30～60 分圏内に、多くのホテルがございますのでご利用下さい。

発表申込：本 JAMS NEWS 8 頁の研究発表申込書に必要事項を記入の上、9 月 27 日（金）まで（厳守）に学会事務局宛に Fax. (03-3371-5185) して下さい。申込書ダウンロード、フォームによる申込みは学会ホームページ <http://www.jams-web.jp/> からでもできますのでご利用下さい。

発表原稿締切：10 月 30 日（水）まで（厳守）、学会事務局宛

参加申込：次号 JAMS NEWS に同封の振込用紙にて、上記金額をお振り込みください。期限後に振込された方は、当日振込用紙の控えまたはコピーをお持ちください。

■発表者の方へ（会場設備について）

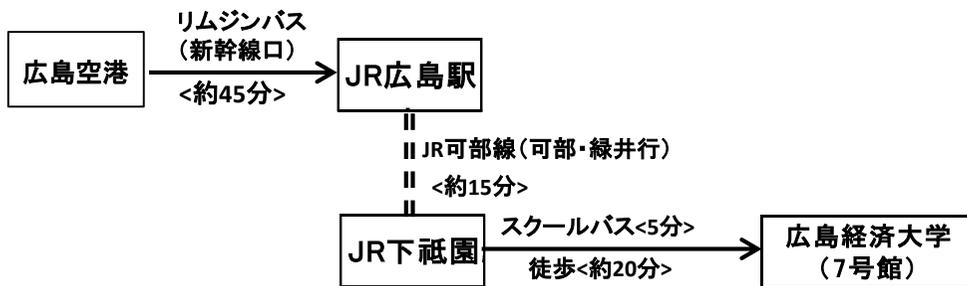
すべての発表会場には備え付けの PC とプロジェクタが設置されていますので、原則として会場の設備をご利用ください。デジタルデータ（USB フラッシュメモリー、CD-R）をお持ちください。特殊なソフトをご使用の場合は、ノート PC をお持ち込みいただくことも可能です。

■大学院生の方へ（学生発表優秀賞について）

学生セッションでは、優秀な発表を審査して学生発表優秀賞を授与しています。大学院生であれば、正会員・学生会員に関係なく学生セッションにエントリーすれば審査の対象となります。ただし、学生セッションの発表原稿は会員の種別に関係なく 2 ページとなります。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください（大学院生がファーストオーサーの場合のみ審査対象となりますのでご注意ください）。

■ 大会会場へのアクセス

- JR 広島駅より JR 可部線下祇園下車スクールバスで 5 分（土曜日は運行）、徒歩約 20 分



※スクールバス乗場は、下祇園駅前を左側の進み

左折後、踏切を渡ったところにあります。

■ 学会発表に関する原則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して以下に示すような原則に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この原則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

1. セッションの種類と発表の資格

一般セッションでは、正会員だけが口頭発表できます。学生セッションは、大学院生であれば、正会員・学生会員ともに口頭発表できます。

2. 学生会員の発表条件

学生会員は正会員と連名でなくては、どのセッションでも発表できません。

3. 連名者の資格

研究発表の連名者は、全員会員でなくてはなりません。また、大会当日は、連名者も大会に参加することを原則とします。

4. 発表件数の制約

同一のファーストオーサーによる研究発表は、3 件目からは 1 件あたり 5,000 円を徴収します。

5. 口頭発表者の参加費支払い

口頭発表者は、発表原稿の提出時に参加費を支払うものとします。

6. 参加費の返還について

既納の参加費は、理由のいかんを問わず返還しませんのでご注意ください。

7. 発表のキャンセルと無断欠席

大会直前に発表キャンセルや無断欠席をされた場合には、次回以降の発表をお断りすることがありますので、十分ご注意ください。

第 50 回全国研究発表大会の報告

大会実行委員長 島田 裕次

日本経営システム学会第 50 回全国研究発表大会が、2013 年 6 月 1 日（土）～2 日（日）、統一論題「経営システムの発展と IT 人材の育成」のもとに、東洋大学川越キャンパスで開催されました。基調講演として、独立行政法人 情報処理推進機構 理事の田中久也氏より「IT 人材の育成について」と題してお話をいただき、特別講演として、株式会社亀屋社長の山崎嘉正氏より「稼業は世の進歩に順ずべし」、そして、金融庁企業開示課課長補佐の有田敏二氏より「次世代 EDINET について」と題したお話をいただき、参加者と講演者の間で活発な討論が交わされました。また、統一論題に対する研究発表 4 件、自由論題に対する研究発表 56 件（うち学生発表 20 件）の講演があり、やはり活発な討議がなされました。

大会の実参加者は 131 名、懇親会参加者は 67 名でした。開催校側準備の不行き届きでご迷惑、不都合があったにもかかわらず、今大会が混乱もなく運営できたのは、ひとえに大会実行委員各位の献身的な働きと全国の会員諸氏のご協力とご寛容によるものでありました。ここに、改めて深く御礼申し上げます。

会長退任のご挨拶

日本経営システム学会 第15・16期会長 松丸正延

このたび、平成25年6月1日をもちまして日本経営システム学会の会長を退任させていただきます。在任中は格別のご高配を賜り、衷心より御礼申し上げます。

思い起こしますと平成21年5月23日に前会長の能勢豊一先生からバトンを引き受け、会長に就任させていただきました。約4年の年月が経過し無事に任期を終了させ、新会長にバトンタッチすることができました。これはひとえに委員会を中心とした学会員皆様のご支援・協力の賜物と深く感謝し御礼を申し上げます。

さて、本学会は昭和56年4月29日(1981年4月29日)に設立され、平成23年4月29日(2011年4月29日)には、学会創立30年を迎えました。この学会創立30年を記念して30周年記念出版本を刊行しました。30周年記念出版委員長の石原辰雄先生及び委員会の先生方の多大なご尽力とおかげをもちまして刊行することが出来ました。ありがとうございます。引き続き普及にご協力をいただきますようお願いいたします。

また2011年(平成23年)の9月1日、2日には、ハワイにおきまして第2回国際大会ICBI2011を開催し、大成功のうちに終了することが出来ました。大会収支は多大の黒字を計上しておりますが、これも実行委員長の立川丈夫先生及び実行委員会の先生方及びご参加し発表していただいた会員の皆様のおかげであると感謝しております。

就任時に申し上げましたように、第1の重点活動施策として研究論文の量と質の向上の加速化を行いたいと考えました。学会として最も重要な使命は、学術研究の推進です。学術研究成果の発表の場としての学会誌の発行を年2回から年3回の発行に増やし、研究成果をなるべく多く、かつ、迅速に公表する機会を増やしました。学会誌編集委員長の石原辰雄先生及び委員会の先生方のご努力により、平成24年度には、日本経営システム学会誌 Vol.29.No.1~No.3を刊行しました。また近年、グローバル化の波は、学術研究にも押し寄せ、世界的な「知」の競争時代に突入しております。本学会では、この国際化に対応すべく国際的な研究論文の公表の場の必要性から2009年にIJAMS(International Journal of Japan Association for Management Systems)を創刊しました。以降、IJAMS編集委員長の塩出省吾先生(15期)、石井博昭先生(16期)及び委員会の先生方のご努力により、毎年1回のIJAMSを刊行し、平成24年度には、IJAMS Vol.4を刊行しました。このように日本経営システム学会誌を年3回、IJAMSを年1回の合計として年4回の経営システムの問題に関する理論、方法論に関する研究の成果を公表し、学術振興の大きな役割を果たしてきています。

活動の重点施策の2番目としては、研究成果の人材教育・育成への還元の加速化を考えました。具体的には、学会としてこの人材教育・育成の一つは、研究発表の場を多く提供し研究の促進を行うことであります。具体的には、研究大会および研究会の活性化です。特に次世代を担う若手研究者の研究の促進に力をそそぎたいと思いました。当学会は学生発表セッションを早くから設けるなど、早くから若手研究者の研究の促進に力を注いできましたが、これをもっと加速化させたいと考えました。この施策の具体化は、表彰委員会のご努力による春季大会及び秋季大会での学生発表優勝賞の表彰です。この制度による若手研究者の学会発表の質の向上及び取組みは計り知れない効果が発揮されたと思えます。また、2012年度には、学会賞の表彰が初めて行われました。これまでに制度としてはありましたが、表彰委員会のご努力により初めて実現しました。また、論文奨励賞の表彰も行われました。これらの表彰には、表彰委員会委員長の山下洋史先生及び委員会の先生方の多大のご尽力がありました。この場をお借りして御礼申し上げます。これらの表彰は、若手研究者だけでなく、数多くの研究者の研究に対する論文の質の向上と取組みに大きな効果が今後とも期待されるものと考えます。また研究発表大会を引き受けてくださった九州産業大学 稲永健太郎先生、東海大学 西口宏美先生、香川大学 板倉宏昭先生、明治大学 山下洋史先生、山梨学院大学 金子勝一先生、早稲田大学 常田稔先生、関西学院大学 福井幸男先生、東洋大学 島田裕次先生にはご尽力をいただきました。ここに改めて深く御礼申し上げます。活動の重点施策の3番目としては、学会ホームページ(Web Site)の改訂を考えました。広報委員長の浅井達雄先生(15期・16期)及び委員会の先生方のご努力により、素晴らしい学会ホームページ(Web Site)になりました。この場を借りて御礼を申し上げます。活動の重点施策の4番目としては一般社団法人化と公益社団法人化の検討を考えました。会長就任後、規定委員会を中心に検討を進めてきましたが、一般社団法人化と公益社団法人化は、当学会としてはその時期には達していないと判断し見送りました。ただし、検討は今後も必要であるとは考えます。活動の重点施策の5番目としては規定・規則の整備・見直しについてであります。規定委員長の林誠先生(15期)、松岡公二先生(16期)及び委員会の先生方には、多大のご貢献をいただき、規定が整備されました。また総務委員長の西口宏美先生及び委員会の先生方には理事会決定に関する細則などの規定・規則の整備・見直しについて検討していただき整理していただきました。学会誌編集委員長の石原辰雄先生及び委員会の先生方には投稿規定の改訂をしていただきました。この場をお借りし御礼申し上げます。紙面の制約上、ここにお名前を載せていない数多くの先生方のご支援・協力があることは承知しており、感謝いたしております。なお、会長後任には石井博昭先生が就任いたしました。倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。これまで賜りましたご厚情に深謝し、ご挨拶申し上げ、会長退任の挨拶とさせていただきます。

JAMS 学生研究発表優秀賞について

表彰委員長 山下 洋史

平成 25 年度第 50 回全国研究発表大会（於：東洋大学 川越キャンパス）終了後、表彰委員会を開催し、慎重に表彰候補者を選考いたしました。その後、理事会の審議を経て下記の 2 名が学生研究発表優秀賞に決定しましたのでご報告いたします。

1. 「意味と技術の関係（一意味の定量的評価）」 後藤 智（立命館大学）
2. 「確率加重関数に対する新たなモデルの提案」 中島 宏治（早稲田大学）
3. 「エンパワーリング・リーダーシップの従業員リテンションへ与える影響
ージョブ・エンペッデッドネスの視点からー」 PHUNG DINH TRONG（大東文化大学）
4. 「大学生のアルバイトの位置づけと就業動機
ーHerzberg の動機づけ衛生理論に基づく関係性分析モデルー」 福田 紗也（愛知淑徳大学）

2012 年度 学会賞 論文奨励賞のお知らせ

【学会賞】

対象業績：最終需要情報共有型のサプライチェーンにおける非定常状態でのブルウィップ効果の分析

受賞者：水野 浩孝（東海大学）

連名者 森山 弘海（東海大学）、羽田 隆男（事業創造大学院大学）

論文掲載誌：日本経営システム学会誌 Vol.29, No.3, pp.191-200

受賞理由：従来のサプライチェーン（SC）におけるブルウィップ効果の分析モデルの多くは、定常状態の SC を分析対象とし、差分方程式による統計的な分析モデルに焦点を当てていた。そのため、従来研究のモデルでは、定常状態にない（例えば、最終需要の突発的な変動による非定常状態の）SC の現象を記述することが困難であると考えられていた。こうした問題を解決すべく、伝達関数表現による多段階モデルを定式化し、この問題に対する一つの手法を提案している。以上により、当該論文は、従来研究の問題点の改善、提案モデルの妥当性・有効性および新規性の点から高く評価することができ、日本経営システム学会 学会賞に相応しい研究論文であると判断する。

【論文奨励賞】

対象業績：GNL とエントロピー・モデルの等価性：集計レベルにおける等価性

受賞者：高橋 啓（早稲田大学）

連名者 大野 高裕（早稲田大学）

論文掲載誌：日本経営システム学会誌 Vol.28, No.3, pp.189-195

推薦理由：当該研究は、離散選択モデルを代表する GNL(Generalized Nested Logit)モデルにより説明される消費者の効用最大化問題が、非集計的な消費者の集計量の場合にもエントロピー最大化問題および情報理論のアプローチに矛盾しないことを明らかにしている。これにより、マーケティング・サイエンスにおける消費者行動モデルや需要予測問題の一般的なアプローチとしての効用最大化問題を、新たに情報理論（エントロピー・モデル）に拡張することの理論的な根拠が担保されるようになった。以上のように、当該論文は、学問的方法論の新規性、証明過程の厳密性に関して優れており、当該論文を日本経営システム学会 論文奨励賞に相応しい研究論文であると判断する

平成 24 年度第 5 回理事会のまとめ

- I. 開催日時：2013 年 4 月 27 日（土）、16 時 00 分～19 時 00 分
- II. 開催場所：東海大学 高輪校舎 1 号館 3 階会議室
- III. 出席者：松丸、常田、椎原、浅井、石井、板倉、石原、上原、佐藤、西口、福井、松岡、山下、今井、金子、佐々木、塩出、島田、鄭、杉田、高橋、立川、林、原田、毛利、柳田（監事）田畑
記録者）西口宏美（敬称略）

IV. 議決事項

1. 平成 24 年度第 4 回理事会議事録の確認（西口）：平成 24 年度第 4 回議事録の内容が報告され、原案の通り承認された。
2. 会員の入退会について（西口）：入退会の状況について説明がなされ、承認された。これにより、正会員 534 名、学生会員 132 名、賛助会員 0 社となった。
3. 学会賞・論文奨励賞について：学会賞、論文奨励賞の候補者推薦の件について説明がなされた。今回は 2011 年度と 2012 年度の学会誌掲載論文を対象とし、学会賞には水野浩孝氏（東海大学）ほか 2 名、論文奨励賞には高橋啓氏（早稲田大学）が推薦され、承認された。なお、副賞については会長と表彰委員長に一任することとした。

V. 協議事項

1. 第 50 回全国研究発表大会の準備状況について（島田）：第 50 回全国研究発表大会の準備状況についての説明がなされ、承認された。発表件数は、一般セッションが 41 件、学生セッションが 20 件との報告がなされた。
2. 規程類の整備状況について（松岡）：総務委員会より委員会細則、評議員細則、ならびに電子メールによる理事会審議に関する内規の案について、また編集委員会より学会誌原著投稿規程、論文誌論文誌原著執筆細則の案の説明がなされた。学会誌原著投稿規程は、学会誌編集委員会と規定委員会で最終調整をした後に、次の総会に諮ることになった。残りの規定については、継続審議になった。
3. 第 32 回通常総会議案書について（西口）：第 32 回通常総会議案書の内容について確認と修正がなされた。最終的な修正に関しては会長と総務委員長に一任することで承認された。
4. 平成 24 年度決算、25 年度予算案について（上原）：平成 24 年度決算ならびに 25 年度の予算案について説明がされ審議された。決算については承認され、最終的な予算案については会長と財務委員長に一任されることになった。
5. 総会での役割分担について（西口）：総会での司会、議長、議事録作成人、議事録署名人の候補者に関しては、会長ならびに総務委員長に一任することが承認された。
6. 次期役員案について（石井）：次期役員案について説明がなされ、承認された。各種委員会委員長には、5 月 18 日までに委員を選出する旨の要請がなされた。
7. 国際大会開催の検討について（松丸）：会長より 2014 年度 9 月の時期に国際大会開催の提案がなされ、今後計画を立て、検討することで承認された。

VI. 報告事項

特になし。

平成 25 年度第 1 回理事会のまとめ

- I. 開催日時：2013 年 6 月 1 日（土）、11 時 10 分～12 時 10 分
- II. 開催場所：東洋大学川越キャンパス 4 号館 4 階 第 2 会議室
- III. 出席者：石井、小田部、小田、塩出、板倉、今井、金子、佐々木、鄭、田畑、林、原田、松岡、毛利、柳田、浅井、石島、稲永、上原、上野、椎原、島田、中桐、西口、深津、松田、水野、村山、山下、山田（監事）杉田、松丸（オブザーバー）立川丈夫（記録者）毛利進太郎（敬称略）

VI. 議決事項

1. 平成 25 年度第 1 回理事会議事録の確認（毛利）：平成 25 年度第 1 回議事録の内容が報告され、原案の通り承認された。
2. 会員の入退会（毛利）：入退会の状況について説明がなされ、承認された。これにより、正会員 533 名、学生会員 136 名、賛助会員 0 社となった。
3. 第 34 回通常総会議案書について（毛利）：通常総会議案書に基づいて説明され、承認された。通常総会に諮られることになった。
4. 学会誌原著投稿規程の改定について（金子、松岡）：投稿学会誌原著投稿規程の改定案が説明され、承認された。通常総会に諮られることになった。
5. 学会役員・各種委員会委員・評議委員について（毛利）：学会役員・各種委員会委員・評議委員の説明がなされ、原案の通り承認された。

V. 協議事項

1. 第 50 回全国研究発表大会の準備状況について（島田）：第 50 回全国研究発表大会の準備状況について説明がなされ、承認された。

2. 第51回全国研究発表大会の準備状況について(村山):第51回全国研究発表大会の計画の説明がなされ、承認された。
 3. 電子メールによる審議について(毛利):電子メールによる理事会審議について説明があった。白票の取り扱いについて質問があり、現状の説明したのち承認した。
 4. 2015年度秋の大会の主催校について(石井):2015年度秋の大会の主催校は、中部支部が検討することが了承された。
 5. 国際大会実行委員会について(立川):2014年の夏にICBI2014を開催する予定である。佐藤修先生を委員長、柳田義継先生を副委員長とし、佐々木桐子先生、立川大和先生、寺本佳苗先生を委員とする実行委員会の設置が承認された。
 6. 各種表彰の副賞について(山下):前回の理事会で会長と表彰委員長に一任されていた副賞について、学会賞10,000円、論文奨励賞5,000円、学生発表優秀賞2,500円とする案が承認された。
- VI. 報告事項
1. 理事会のメーリングリストの作成について(毛利):役員のメールアドレスが確認された。このメールアドレスに基づいて理事会のメーリングリストが準備されることになった。
 2. 評議員会について(石井):理事会に先立ち、評議員会が開催されたことが報告された。
 3. 第52回全国研究発表大会の準備状況について(石島):第52回全国研究発表大会について報告がなされた。

経営品質科学研究部会・シンポジウムのお知らせ

開催日予定日時:2013年9月10日(火) 17:30-20:00, 9月11日(水) 9:30-12:00

開催場所:愛知淑徳大学 星ヶ丘キャンパス 1号館3F 13C教室

〒464-8671 名古屋市千種区桜が丘23 TEL.052-781-1151(代表)

名古屋駅から地下鉄東山線星ヶ丘駅(所要時間約18分)下車 徒歩約3分

<http://www.aasa.ac.jp/guidance/map.html>

発表予定者:

<9月10日(火)>

1. 山下 洋史(明治大学)「正規従業員・非正規従業員のエネルギーとエンタロピーの調和モデル」
2. 山下 洋史(明治大学), 権 善喜(明治大学)「組織におけるメンバーの内部エネルギーと放出エネルギー」
3. 金子 勝一(山梨学院大学), 山下 洋史(明治大学)「Tree型ネットワークの協調と競争」
4. 福田 紗也(愛知淑徳大学), 上原 衛(愛知淑徳大学)「学生アルバイトの就業意識に関する研究」

<9月11日(水)>

5. 権 善喜(明治大学), 山下 洋史(明治大学)「組織の殻に守られたメンバーの低温度適温」
6. パネル・ディスカッション「学生のアルバイトと就職活動」

司会:上原 衛(愛知淑徳大学), パネリスト:山下 洋史(明治大学), 権 善喜(明治大学)

金子 勝一(山梨学院大学), 福田 紗也氏(愛知淑徳大学)

協 賛:日本経営システム学会 中部支部

連絡先(幹事):鄭 年皓(明治大学) Tel.03-3296-4166(経営品質科学研究所)

金子 勝一(山梨学院大学) Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

ヒューマン・リソース研究部会のお知らせ

開催日予定日時:2013年9月21日(土) 15:00-17:00

開催場所:日本大学 生産工学部 30号館5F 小田部研究室

発表予定者:未定(発表者、テーマが決定しましたら、学会メーリングリスト、ホームページにて連絡・掲示させていただきます)

連絡先(幹事):金子 勝一(山梨学院大学) Tel.055-224-1337 E-mail:shoichi@ygu.ac.jp

JAMS/JAIMS ICBI 2014 国際大会の発表者募集

本学会が主催する国際大会 ICBI2014 の発表者・参加者を募集しています。奮ってご応募いただけますよう、ご案内申し上げます(暫定版)。

記

開催日	2014年9月2日～3日(未確定)
開催場所	米国ハワイ州ホノルル市 JAIMS 校舎(未確定)
統一論題	“Management Systems for Cooperative Business Applications”
発表の条件	経営・システム・情報・管理に係わる内容で未発表のもの。
発表申込締切	2014年2月28日 表題と要旨。要旨は英文1,000字以内とする。発表の可否は審査により決定される。
採択通知予定	2014年3月31日 採択論文の口頭発表者は事前参加登録をしなければならない。事前参加登録がない場合は発表をキャンセルする。ファーストオーサーとしての口頭発表は、一人1件までとする。
予稿原稿締切	2014年5月31日 IJAMS の書式で作成する。刷り上がり4頁以上。予稿書式は(http://www.jams-web.jp/en/ijams.html)参照。予稿は PDF 文書として、大会当日に USB メモリで参加者に配布する。
事前参加登録締切 参加費	2014年5月31日 (昼食・懇親会費を含む)事前登録3万円、当日現地申込4万円。参加費は予稿 USB メモリ、予稿掲載料、大会当日の会場費・昼食・レセプションを含む。
大会運営委員長	石井博昭(本学会会長、関西学院大学) Blair M. T. Odo, Ph.D (JAIMS 校長)
大会実行委員長	佐藤修(東京経済大学) Blair M. T. Odo, Ph.D (JAIMS 校長)
実行委員	柳田義継(本学会大会委員会委員長、横浜商科大学) 佐々木桐子(本学会大会委員会副委員長、新潟国際情報大学) 立川大和(戸板女子短期大学) 寺本佳苗(富山短期大学) 立川丈夫(横浜商科大学)
詳細情報	大会ウェブページ http://www.jams-web.jp/information/icbi2014/
その他	正確な開催日・開催場所は確定次第、上記ウェブページに掲示する。次号 JAMS NEWS にも掲載予定。
問い合わせ先	icbi2014@gmail.com

専任教員公募のご案内

学会 Web サイトに掲載されている教員公募についてご案内させていただきます。公募に関する詳細は、学会 Web サイト (<http://www.jams-web.jp/>) のトップページにリンクがありますので、ご参照下さい。

- ・香川大学大学院地域マネジメント研究科
「ファイナンス・マネジメント」等 専任教員公募のご案内(教授・准教授・講師、応募締切り 2013/10/21)
<http://www.jams-web.jp/images/koubokagawa2013.pdf>
- ・共愛学園前橋国際大学 専任教員公募のご案内(准教授・講師・助教、応募締切り 2013/9/20)
<http://www.jams-web.jp/images/koubokyoai2013.pdf>

受付番号 _____

日本経営システム学会 研究発表申込書

平成 25 年度 第 51 回全国研究発表大会

発表種類 (研究、部会) (発表種類のいずれかを○でお囲み下さい)

発表セッション区分 (一般セッション、学生セッション) (区分のいずれかを○でお囲み下さい)

口頭発表者会員種別 (正会員、学生会員) (会員種別のいずれかを○でお囲み下さい)

会員連絡先

会 員 名			
所 属			
住所 (勤務先・自宅)	〒		
連 絡 先	TEL	FAX	E-mail

論題および発表者

論 題			
ふりがな 発表者氏名 (所属)	1. ()	2. ()	
当日の口頭発表者には*を付す	3. ()	4. ()	
研 究 部 会 名 (研究部会発表の場合)		代表者名: ()	

発表要旨 (200 字以内・ワープロプリント貼付可)

キーワード (必ず記入)					

- 注：1) 大会プログラムは、この申込書のキーワードおよび発表要旨により編成いたします。
 2) プログラム、論文集目次の論題および口頭発表者・連絡者は申込書の記載どおりに掲載いたしますので、明確に楷書にてご記入下さい。(ワープロプリント貼付可)
 3) 論文集原稿締切日までに間に合わない場合は、プログラムに掲載され、発表時間も確保されておりますが発表取り消しとしますので、ご了承ください。



日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 パラードハイム 703
 TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185
 E-Mail: keieisys@hh.ij4u.or.jp